

第38回 国内洋上研修のご案内

2019

北海道航路

考動と創造の船

改善活動を活性化し、現場力を高める強いリーダーを創る!!

スローガン

豊かな創造性 活力ある職場づくり

名古屋港 ⇄ 苫小牧港

2019
11/12
TUE

2019
11/16
SAT

仕事の価値を創造する
新しい友情を築く

100時間の感動の航路!!



- ー 使用船のご案内 ー
- 日本最大級の豪華フェリー “きそ”
- 総トン数 … 15,795t
(客船換算 約 32,000 t)
 - 全 長 … 199.9m
 - 幅 … 27m
 - 最大速力 … 26.73 ノット
 - フィンスタビライザー (横ゆれ防止装置)

11月12日(火)
名古屋港を出港!

主 催／ 一般社団法人 日本経営協会
後 援／ 名古屋商工会議所・中日新聞社
旅行運営／ 太平洋フェリー株式会社

「2019(第38回)考動と創造の船」 開催にあたって

時間の過ぎるのは早いもので、今年も洋上研修「考動と創造の船」(北海道航路)のご案内を申し上げる時期になりました。

新元号「令和」になって最初のご案内で、格別な思いを感じます。この一般社団法人日本経営協会の洋上研修「考動と創造の船」は、昭和57年(1982年)に192名の参加を得て産声をあげ、最初の船出をしたのであります。そして平成の時代を力強く航海し続け、令和の時代においては大きな飛躍を目指すものです。昭和、平成、令和の3時代を全日程「船」で行う名称通りの内容の洋上研修は、殆んどなくなっている中、これまでに6,696名のご参加をいただいていますことを誇りに思っております。

この洋上研修「考動と創造の船」は順風満帆な航海ばかりでなく、厳しい経済変動など好ましくない諸要因により、航海を断念しなければならないような状況もありましたが、本当に多くの企業・団体の温かく精一杯のご支援をいただき荒波を乗り越えてまいりました。今後とも、この洋上研修「考動と創造の船」に温かいご支援を賜りますよう、団長としてお願い申し上げます。

また、洋上研修が産声をあげて以来約37年間、スローガンを「豊かな創造性 活力ある職場づくり」として、具体的には「改善活動を活性化し、現場力を高める強いリーダーを創る」を狙いに、このイデオロギーからいささかもブレることなく研修を実施してまいりました。

そこで今回、第38回「考動と創造の船」もこのイデオロギーを基に、①「KAIZEN実践者コース」、②「KAIZEN推進リーダーコース」、③「発想・改善アイデア・トレーニングコース」、④「良好な(職場)人間関係を創るコミュニケーション力向上コース」、⑤「創造型職場づくりコース」の5研修コースを用意いたしました。

これらのコースで得られた知見は、働く人に働くことの喜びと、心身共に健康で幸せな生活を保障するとともに企業には労働生産性の向上を保障する「働き方改革」が今日、強く叫ばれていますが、この改革を進めるのにあたって大きく寄与するものと確信いたしております。

また、この令和の時代において、例えば人工知能(AI)の開発や導入を始め職場環境の様相は大きく変化するものと考えられます。そのような中で、どのような「変化」にも対応する力を持った人材が求められます。この洋上研修は、こうした人材育成のために貢献できますよう努めてまいります。

このような研修のみならず、洋上での生活ならではの参加者の交流を図る中で情報交換を積極的に行う機会の提供や、その他、特色ある諸々の企画を用意いたしております。

以上のような理念・企画のもと、ご参加いただきました皆様、ご派遣いただきました企業・団体様に心よりご満足いただけますよう努めてまいります。「令和」最初の船出で、アドバイザーをはじめ関係者一同、力一杯頑張ります。

是非お一人でも多くの方のご参加、ご派遣を心よりお願いを申し上げ、ご案内とさせていただきます。

2019年5月吉日

団長 愛知教育大学 名誉教授 日本経営協会 参与 竹内 登規夫

2019 考動と創造の船の特色

コース 編 成

職場の活性化・職場改善力・アイデア発想力・やる気醸成・ストレス耐性などの向上を目指した5つの研修コースから1つを受講。それぞれのコースで、最新の知識と情報を提供いたします。

指導陣

企業の第一線での指導経験豊富な実力講師および実務家をアドバイザーに招へいし、ゲストには異色の著名講師を迎え充実した講師陣になっております。

プログラム

研修テーマごとのコース別研修・他社交流(異業種情報交換)・斯界一流講師の講演・小集団(班毎)による各種船内行事・北海道観光など多彩なプログラムを用意。特に他社交流には最大限の配慮をしています。

傾聴の広場・講師

傾聴の広場Ⅰ〈団長〉

愛知教育大学 名誉教授・日本経営協会 参与

たけうち と き お
竹内 登規夫 「私の人生と職業人に
期待すること」



1944年生まれ。1967年愛知教育大学卒。
1970年立教大学大学院修士課程修了。
1972年愛知教育大学助手となり、助教授を経て、
1988年から同大学教授。
大学で教鞭をとるかたわらカウンセリングの専門家
として民間企業の指導等、多方面で活躍。

傾聴の広場Ⅱ〈特別ゲスト〉

順天堂大学スポーツ健康科学部 講師
株式会社 attainment 代表取締役

むろふし ゆ か
室伏 由佳さん 「可能性への挑戦
～逆境を乗り越える力を身につける～」



1977年2月静岡県生まれ、愛知県出身。スポーツ健康科学の研究者。

中学生から陸上競技を始める。陸上競技女子ハンマー投の日本記録保持者(2019年4月現在)。

2004年アテネオリンピック女子ハンマー投日本代表。
世界選手権2005年ヘルシンキ大会(ハンマー投)、
2007年大阪大会(円盤投)に日本代表で出場。日本陸上
競技選手権大会で円盤投10連覇(合計12勝)、ハン
マー投では5回の優勝をした。2010年アジア大会では
女子ハンマー投で銅メダルを獲得。競技現役中は、慢性

的な腰痛症や肩の神経障害などのスポーツ障害や婦人科疾患に苦しむ。2012年ロンドン大会選考会出場後に競技引退を決意。腰部脊柱管狭窄症の手術を経て、同年9月の全日本実業団選手権を最後に現役を退いた。

2016年にスポーツコンサルタントの法人・株式会社attainmentを設立。2019年3月に順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科で博士後期課程を修了し、スポーツとアンチ・ドーピング教育研究において博士号の学位を取得(スポーツ健康科学博士)。同年4月順天堂大学スポーツ健康科学部講師に着任。スポーツとアンチ・ドーピングや、スポーツ心理学や、自身の経験したスポーツ障害や疾患などを事例的に取り上げた内容等、スポーツ健康科学の領域で講義や講演を行っている。スポーツ現場では、小学生から大人まで、またアスリートに向けて、各種運動指導で講師を務める。

研修コース内容

※主要研修項目は、参加者のニーズ等によって変更となる場合もありますので予めご了承ください。

KAIZEN実践者コース ～モチベーションの向上を目指して～

日本ガイシ株式会社
品質経営統括部
マネージャー



アドバイザー
かわぐち
川口 定

主体的に参加したメンバーが、情報交流と協働体験を通じて、改善実践者に求められるスキル&モチベーションの向上を図ります。職場で改善活動(提案&QCサークル)を実践されている皆さんが、それぞれの「改善自慢」を持ち寄り、小グループでの協働作業を通じて、活発な相乗効果を起こし、一人では思いつかなかった事を発見したり、一人では得られない気づきを得ると同時に、大きな学びを得てもらいます。

主要研修項目

- ・グループ交流(私の改善自慢紹介ほか)
- ・「KAIZENの基本」(再確認)
- ・船内散策による「KAIZEN」発見
散策→発見→グループディスカッション→情報共有 ほか

参加対象

- ・職場の改善活動(提案・QC活動)を実践している方

KAIZEN推進リーダーコース

アイシン精機株式会社
生産人材育成部 技能伝承グループ
グループマネージャー



アドバイザー
はやかわ のりとし
早川 典利

参加者の交流・相互啓発を中心としたプログラム構成により、参加者自らが考動し、知恵と情報を交換する研修項目を随所に設け、リーダーに求められる職場の改善活動活性化のポイントを学びます。

主要研修項目

- ・グループ交流(会社の制度紹介ほか)
- ・「KAIZENの基本」とリーダーの役割
- ・改善活動活性化のポイント
～わが社ではこうしている～
- ・課題解決のための情報交流 ほか

参加対象

- ・職場の改善活動(提案・QC活動)を支援するリーダーの方
- ・職場の改善活動の事務局推進者の方

発想・改善アイデア・トレーニングコース

知的財産・発明事業化アドバイザー
発明達人塾・アイデアクリニック
代表



アドバイザー
しもむら ただし
下村 正

小グループ制による改善案のブレインストーミングを通じ、問題点の発見からアイデアの発想、プレゼンテーションまでの実習を行い、日常生活や職場での改善能力の向上を図ります。
老若男女・役職・職種に限らず、誰でも気軽に参加でき、柔軟な発想と固定概念を打ち破るための楽しいプログラムです。

主要研修項目

- ・アイデア発想法を高めるポイント
- ・船内散策による具体的アイデア発想法体験
- ・全員参加のグループ発想法
- ・アイデア発想のステップ

参加対象

- ・すべての職場で働く方

良好な(職場)人間関係を創るコミュニケーション力向上コース

一般社団法人 日本経営協会
専任講師



アドバイザー
はやし けいこ
林 計子

「経営環境の変化」や「労働の質の変化」が進むと同時に、多様性が重要視される今、職場で良好な人間関係を構築することは、非常に重要かつ困難になってきています。本コースでは、主体的に「職場における良好な人間関係を創るための勘所」を実習やワーク、そして参加者同士の情報交換もふんだんに交え、学びや気づきを得ていただきます。

主要研修項目

- ・職場の人間関係における課題・問題の抽出
- ・良好な人間関係を創るための基本
- ・自分のコミュニケーションスタイルを知る
- ・様々なケースにどのように対応するか(ワーク・情報交換)
- ・自分のコミュニケーションスキルをアップする(実習) ほか

参加対象

- ・良好な職場の人間関係を構築したい方
 - ・コミュニケーション能力を向上させたい方
- ※役職の有無、年齢・キャリア等に関係なくご参加いただけます。

部下のやる気向上とストレス低減を実践する創造型職場づくりコース

考動と創造の船団長
愛知教育大学 名誉教授



アドバイザー
たけうち としお
竹内登規夫

多様化が進む昨今、職場リーダーに求められる大きな要素の一つに、「創造型職場づくり」の実践が求められています。前例踏襲には限界があり、継続的に新たな価値創造を実践しなければ、パフォーマンス向上を実現することができないことは言うまでもありません。そこで、本コースでは「創造型職場づくり」の鍵となる「やる気向上」と「ストレス低減」実践法について習得を目指します。

主要研修項目

- ・職場ストレス・パフォーマンスを基にした「創造型」組織とは(講義・演習)
- ・「創造型」職場づくりのためのリーダーシップとは(「リーダーとしての自己理解を含む」)(講義・演習)
- ・「創造型」人間の育成(講義・演習)
- ・「職場ストレス」を軽減する職場づくり(講義・演習)
- ・「職場パフォーマンス」を高める職場づくり(講義・演習)

参加対象

- ・職場リーダーの方
- ・職場内メンターの方
- ・管理監督者の方

『現場力向上と人材力向上』のヒントを学ぶ体感の『場』!!

タイムスケジュール

実践に活かせるスキルの提供と
参加者の情報交流を中心とした密度の高いスケジュール

		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	時																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
1日目	11 ／ 12 (火)											名古屋臨海 高速鉄道 あおなみ線 「野跡駅」出発 (無 料 バ ス 運 行)		名古屋港 フェリー ターミナル にて受付		名古屋港出発 (19:00) 船 上					①オリエンテーション ②歓迎の広場 ③班長会議 ④出会いの広場(班別交流I・夕食)		自由時間		消 灯																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	2日目	11 ／ 13 (水)	起床 体操										朝食		自由時間		傾聴の 広 場 I		コース別研修 (1)		昼食		コース別研修 (2)				夕食		班長 会議		行事企画 委員会		班別交流 Ⅱ		自由時間		消 灯																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
3日目	11 ／ 14 (木)	起床 体操										朝食		自由時間		コース 別 研 修 (3)		登別オリエン ション		下 船 準 備		船		バス 移 動		北海道観光				バス 移 動		乗 船		夕食		班長 会議		自由 時間		班別交流 Ⅲ		自由時間		消 灯																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	4日目	11 ／ 15 (金)	起床 体操										朝食		自由時間		コース 別 研 修 (4)				傾聴の 広 場 Ⅱ		昼食		コース別研修 (5)				夕食		コース 別 研 修 最 後 の 交 流				旅立ち パーティー		自由時間		消 灯																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5日目	11 ／ 16 (土)	起床 体操										朝食		自由時間		飛 躍 の 広 場		下 船 準 備		下 (解散) 名古屋 港 フェリー ターミナル				あおなみ線 「野跡駅」																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

(注) コース別研修は他企業の方との情報交換、交流を中心に進めていきます。諸般の事情によりプログラムを変更する場合があります。

前年度

洋上研修レポート

参加者の声

- ①研修で印象に残ったこと
- ②研修で学んだこと
- ③職場で活かしていきたいこと

“100時間の人間ドラマ”一生の思い出となる洋上研修

C社 Kさん

- ①異業種に勤める方々と交流ができたため、見識を広めることができた。製造現場で働く方々の意識の高さに驚いた。
- ②正常の状態がわかっていないと異常に気づけないため改善を実施していくには、まず、本来正しい姿を理解することが大切だと学んだ。
- ③改善を推進するために、自分の業務の本質とは何かを理解し、あるべき姿を実践していく。

C社 Mさん

- ①講義内容と同じようにコミュニケーションを行っていたが、まだまだ改善できる箇所が発見できた。自分を見つめなおす良い機会になった。
- ②人とかかわり方、対処法を教えてもらった。
- ③声かけを必ず実践し、さらなる現場力を高めていきたい。

A社 Fさん

- ①傾聴の広場での講演が、I・IIともに非常に感銘を受けた。コミュニケーションの大切さ、さらにポジティブに物事をとらえる大切さを知れた。
- ②異業種・違う年齢層の人たちと話すことで、自分の考えとの違いや新しい発見ができたことが、この研修の一番の学びであった。
- ③職場にも、違う年齢層の社員がいるが、まずは、相手の話を聴き、よく理解して明るい職場を作っていきたい。

A社 Oさん

- ①班長に任命されたおかげで、班の皆さんに声をかけてもらい、研修中は、とても楽しく貴重な時間であった。
- ②自ら進んで皆さんに声をかけていく勇氣、協力し合う気持ち、お互いを思い合う心が得られました。
- ③コース別研修で学んだ、皆を引き付ける力を活かしたい。

A社 Tさん

- ①竹内団長の講演を聴いて、相手の行動の裏にある個人的、環境的要因を掘り下げることが大切ということが印象に残った。
- ②職業や年齢が異なる人と共同生活をする中で、相手をよく理解すること、相手の話に耳を傾けることがコミュニケーションにとって大切ということ学んだ。
- ③コーチングスキルを職場で使い、自分で考え行動できる人材を育成したい。

T社 Nさん

- ①今の自分に足りないところを気づけた。
- ②ポジティブ思考と笑顔
- ③ポジティブ思考と部下・後輩への指導



〈団長講演〉



〈団長・アドバイザー〉



〈コース別研修〉



〈北海道観光〉



〈特別ゲスト講演〉



〈参加者交流〉

参加要項

「2019 考勤と創造の船」へのお申し込みは別紙申込書にてお願いいたします。

- 期 間：2019年11月12日(火)～11月16日(土)〈船中泊4泊5日〉
※11月12日(火)19時00分名古屋港出港、11月16日(土)10時30分名古屋港帰港(予定)
- 受付場所・時間：名古屋港・太平洋フェリーターミナル1F(名古屋市港区空見町40)
〈受付時間〉11月12日(火)14時30分～15時30分
※受付場所へは名古屋臨海高速鉄道・あおなみ線^{のせき}「野跡駅」から市バスの無料運行をいたします。
(所要時間約5分、詳細は後日ご派遣責任者の方へご案内いたします。)
- 航路と使用船：名古屋港 ⇄ 北海道(苫小牧港)
豪華船「きそ」15,795t(太平洋フェリー所属)
- コース別研修：5つの研修コースから選択できます。
- 北海道観光：登別温泉コース(登別温泉内のホテルでの入浴、地獄谷)
- 対象：改善提案活動及びQC活動の推進者(事務局含む)の方／優秀提案者、QCサークルリーダーの方／
文部科学大臣 表彰の「創意工夫功労者」の方／経営の効率化、活性化に問題意識をお持ちのマネージャー・
リーダーの方／TQM等の活動推進関係者／営業・サービスの分野の第一線で活躍の方／民間企業以外
の諸団体(地方自治体・病院等)の職員の方
- 定 員：120名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

参加費： (1名の費用)

区 分		日本経営協会会員 改善・提案研究会会員	一 般
1 社 (団体) からの参加人数	参加人数		
	1～4名	145,000円	165,000円
	5～9名	137,000円	158,000円
	10～19名	132,000円	153,000円
	20名以上	126,000円	147,000円

参加費に含まれる費用

- ・名古屋港 ⇄ 北海道(苫小牧港) 間航送料
- ・期間中の食事代
- ・研修にかかわるテキスト・資料代
- ・損害保険料

旅行主催者は、参加者ご自身と身の回り品の損害が次の原因により生じた場合は、責任を負いかねますのでご了承下さい。

- ① 天災地変、戦乱、暴動、ストライキ、陸海空における不慮の火災、交通事故
- ② 運輸宿泊機関等の事故、火災等に基づき生じたスケジュール、経路の変更
- ③ 盗難、詐欺、暴行、疫病、障害
- ④ 自由行動中の事故。その他損害賠償免責事項、責任、ご参加条件につきましては、国土交通省認可による旅行主催者の「旅行約款」に従わせていただきます。

- ・北海道観光費用(各自のおみやげ代除く)
- ・報告書代

*消費税は、含まれておりません

- 申込方法：別紙申込書の所要事項をご記入の上、下記へ郵送又はFAXでお申込みください。
 - 参加要領、参加券、振込銀行・口座名を記載した請求書をご派遣責任者にお送りいたします。(お送りする時期は8月中旬以降となります。)
 - 領収書は「振込金受取書」をもって代えさせていただきますのでご了承ください。
 - 参加料は原則として開催日15日前までに銀行振込でお願いいたします。参加料支払いが遅れる場合は、申込書に支払予定日、支払方法をご記入のうえご送付ください。
 - 電話のお申込みも受け付けます。(この場合でもあとから申込書をご送付ください。)

キャンセルについて

開催日30日～8日前迄は参加料の30%、7日前～前日迄50%、当日は参加料の70%をキャンセル料として申し受けます。

本洋上研修は、運営において参加者各位の氏名、勤務先名、所属・役職名、住所(主に勤務先)を記載した参加者名簿を本洋上研修の参加者全員に配布することが必要ですので、このことをご同意の上お申込みください。

- 申込締切日：9月27日(金) 但し定員になり次第締め切らせていただきますので人数のみ早めにご予約ください。

お 問 合 せ
お 申 込 み 先

一般社団法人 日本経営協会 (中部本部) 企画研修グループ 洋上研修推進事務局

〒461-0005 名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル10階

TEL (052) 957-4172 (ダイヤルイン) FAX (052) 952-7418

ホームページ <http://noma-chubu.jp/>

※お電話でのお問い合わせは平日9:15～17:15にお願いいたします。

2019

第38回

T・ACTION
&
CREATION

一般社団法人日本経営協会（略称NOMA）のご案内

一般社団法人日本経営協会（略称NOMA）は、昭和24年（1949年）に「日本事務能率協会」として設立。同年に通商産業省（現・経済産業省）から社団法人として公益法人認可を受け、昭和46年（1971年）に「日本経営協会」に名称変更しました。その後、公益法人法制の改正に基づいて平成23年（2011年）4月に国の認可を受けて一般社団法人へ移行いたしました。現在、多数の民間法人・官公庁・病院等の諸団体が会員に加入しており、全国的サービス網でわが国企業・諸団体（官公庁・病院等諸団体）の経営効率化と人材育成のために寄与いたしております。

主 な 役 員 陣

－2019年4月1日（現在）－ ＊敬称略・順不同

会 長	浦 野	光 人	〔元・株式会社 ニチレイ 会長〕
副会長	上 田	達 郎	〔トヨタ自動車株式会社 執行役員〕
副会長	辻 井	昭 雄	〔近鉄グループホールディングス株式会社 相談役〕
理事長	平 井	充 則	〔一般社団法人日本経営協会〕
理 事	小 路	明 善	〔アサヒグループホールディングス株式会社 代表取締役社長 兼 CEO〕
理 事	佐久間	総一郎	〔日本製鉄株式会社 常任顧問〕
理 事	長 峯	豊 之	〔ANAホールディングス株式会社 代表取締役 副社長執行役員〕
理 事	松 倉	肇	〔日本電気株式会社 取締役執行役員常務〕
理 事	松 田	弘 一	〔株式会社大丸松坂屋百貨店 常務執行役員〕
理 事	榎 井	秀 朗	〔三菱重工業株式会社 常務執行役員〕
理 事	吉 田	久仁彦	〔株式会社東レ経営研究所 代表取締役社長〕
理 事	米 山	淳 二	〔TDK株式会社 常勤監査役〕

「改善・提案研究会」のご案内

一般社団法人日本経営協会は、昭和33年に創立された日本提案活動研究会（その後、日本提案活動協会に名称変更）の事務局をお預かりし、長年にわたり改善・提案活動に関する諸活動のお手伝いをしてまいりました。日本提案活動協会は、独立した団体でしたが、平成12年度から本会が、その事業を受け継ぎ、名称も「改善・提案研究会」と改め、様々な事業を実施いたしております。

中部・関西本部の委員企業 ＊敬称略・50音順

アイシン精機・愛知製鋼・大塚製薬工場・小糸製作所・中部電力・デンソー・豊田自動織機・ニデック・日本ガイシ・パナソニック・ホシザキ

洋上研修推進事務局

〒461-0005 名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル10階

一般社団法人日本経営協会（中部本部）企画研修グループ内

TEL (052) 957-4172 ダイヤルイン

FAX (052) 952-7418

ホームページ <http://noma-chubu.jp/>

※ご不明な点はお気軽に上記へご照会下さい。